

適正な年齢構成の実現について

香川大学では、教育研究力の向上に資する魅力ある人事給与制度の構築を図るため、文部科学省が定めた「国立大学法人等人事給与マネジメント改革に関するガイドライン」を参考に取り組みを進めています。

このうち、教員の年齢構成の在り方について、大学における適正な年齢構成を実現するため、以下のとおり、目標とする若手教員（40歳未満）在籍比率を定めるとともに、その実現に向けた方策を実施しながら教員の人事計画を策定しています。

○若手教員比率目標値 18%以上

（参考）若手教員比率の推移

年度	若手教員比率
平成28年度	24.0%
平成29年度	19.5%
平成30年度	18.5%
令和元年度	17.2%
令和2年度	17.6%
令和3年度	17.7%
令和4年度	18.7%
令和5年度	16.3%
令和6年度	16.4%
令和7年度	15.2%
令和8年度	13.7%

※各年度5月1日現在の教員数を基に算出